

病院名: 社会福祉法人恩賜財団済生会御所病院 医療圏: 中和

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

1日平均 在院患者数(注2)	
1日平均 外来患者数(注3)	

(注1)最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：社会福祉法人恩賜財団済生会御所病院

医療圏：中和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

（1）これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

御所市にある公的病院として、「面倒見のいい病院」機能に特化していくことは決定済みである。それに伴い、将来を見据え令和7年度に病床機能の見直し、病床削減を行っているが、高齢化が著しい地域で2040年には高齢化率が50%を超えることが明らかであるため、高齢者救急を含め高齢者への対応が必要不可欠となっている。
自院の限られた病院機能を活用しつつ、奈良県立医大・大和高田市立病院・南奈良総合医療センターとの連携を強化し、後方支援体制を充実させていく方向である。

（２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

当院地域は人口減少が進むが、高齢化率は非常に高い水準で推移するため、当面高齢者は増加していく。新たな地域医療構想の医療機関機能としては、当院は高齢者救急・地域急性期機能に該当するものであり、地域の高齢者救急の第一の窓口になるべきと考えている。日中の救急対応はもちろんのこと、今後は医師不足のなか、休日・夜間救急受入の体制整備が解決すべき課題である。

（３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

地域包括ケアシステムの充実を図るため、令和2年3月に訪問看護ステーションを開設、その後は訪問リハにも取り組んでいる。在宅医療については、今後の地域の診療所の状況も勘案しながら、必要な対応を前向きに進めていく。

(4) 今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

周辺環境（人口減少・高齢化）や労働人口の減少を見据え、ダウンサイジングとして病床数の削減や外来診療（診療科・診療日数）の見直しを既に行っている。効率化を図るためには、導入している電子カルテとの連携を前提にDXを検討したいと考えている。また、医療従事者の確保に向けては、外国人雇用も視野に入れ検討している。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[1-2]手術の実施

消化器・乳腺

[1-3]化学療法の実施

実施している

[1-4]放射線治療の実施

実施していない

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

現在行っている手術、化学療法については継続する。

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

—

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

—

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

—

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

—

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

—

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

—

[2-8]大動脈瘤手術の実施

—

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

—

[2-10]特記事項

医師を含めスタッフが充実していないため、対応困難である。奈良県立医大や大和橿原病院と連携している現状を維持していきたい。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

—

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

—

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

—

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

—

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

—

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

—

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

—

[3-9]特記事項

脳神経外科は非常勤医師で外来対応のみである。脳卒中領域では、脳外科対応を必要としないかかりつけ患者の診療を行い、今後も継続していく。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

平日の日中は幅広く対応しているが、休日や夜間は1科当直であり、限定的な対応となっている。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

実施している

[5-5]通所リハビリの実施

実施していない

[5-6]今後の方向性

訪問看護においてリハビリの希望があるため、現状の対応は継続していく。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

対応している

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

高齢者医療への対応がより必要であり、今後積極的な関わりを検討していく。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応している

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ある

[7-3]上記でありの場合、その名称

訪問看護ステーションあまね

[7-4]特記事項

高齢者医療への対応には欠かすことができないものであり、拡充も検討していく。

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

スタッフの育成を第一にACPを推進、実践していく。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

医師不足により小児科を廃止した経緯があり、自院だけでの対応は困難である。

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

小児科を同様に医師不足により廃止した経緯があり、今後に対応は困難である。

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

—

[11-3]DMA T 指定病院の指定を受けているか？

—

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

—

[11-5]特記事項

災害拠点病院との連携を行い、有事の際は後方支援を行うなど、現状の病院機能を活かして対応する。また、地元自治体とは災害時の連携協定について検討しているところである。

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

—

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

—

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

—

[13-7]特記事項

常勤医師数や病院機能が限られているため、現状の対応を維持していく。

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

宿日直許可は令和6年3月に取得済みである。現状では過度な時間外勤務等もなく、引き続き法に準じた対応を行う。

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[15-3]特記事項

—